

Canon

キヤノネット

G-III 17/19

使用説明書



日本語版

お買上げ下さいましてありがとうございます。
キヤノネットG-III17,19は小さな高級機としてキヤノネット発売以来400万台を越えるご愛用をいただいております。

昼夜を問わず EE 撮影が続けられ、始めての方でも手軽に撮影を楽しめるばかりでなく、ご自分でシャッター、絞りを選択されてお使いになりたい方のご要望にも応えられる設計がされています。

キヤノネットG-III19は機能的にはキヤノネットG-III17と全く同じもので、姉妹機として高級性能をフルにご使用いただけます。この使用説明書はG-III17を基準に作成されていますが、キヤノネットG-III19にもそのままご利用いただけます。組込まれていない機構には注意書きで補足してありますのでご参照ください。

使用説明書は、カメラを理解するとともに、より良い使い方ができるよう説明されています。始めからよくお読みいただき楽しい撮影をお続けください。

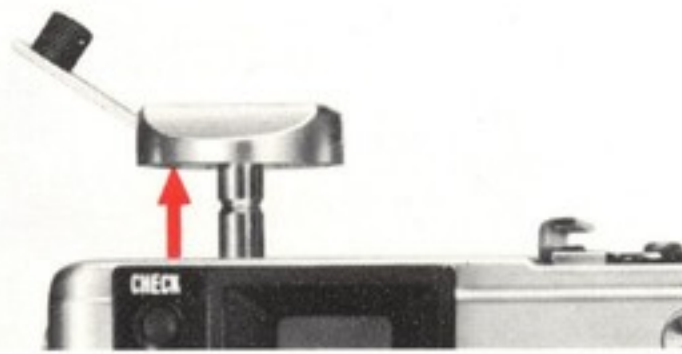
目 次

水銀電池をつめる.....	9
バッテリーチェック.....	10
フィルムをつめる.....	12
A S A 感度を合わせる.....	15
E E 撮影.....	16
フラッシュオート撮影.....	21
フィルムの巻戻し、取出し.....	26
手動絞り.....	28
セルフタイマー.....	30

EE撮影手順早わかり

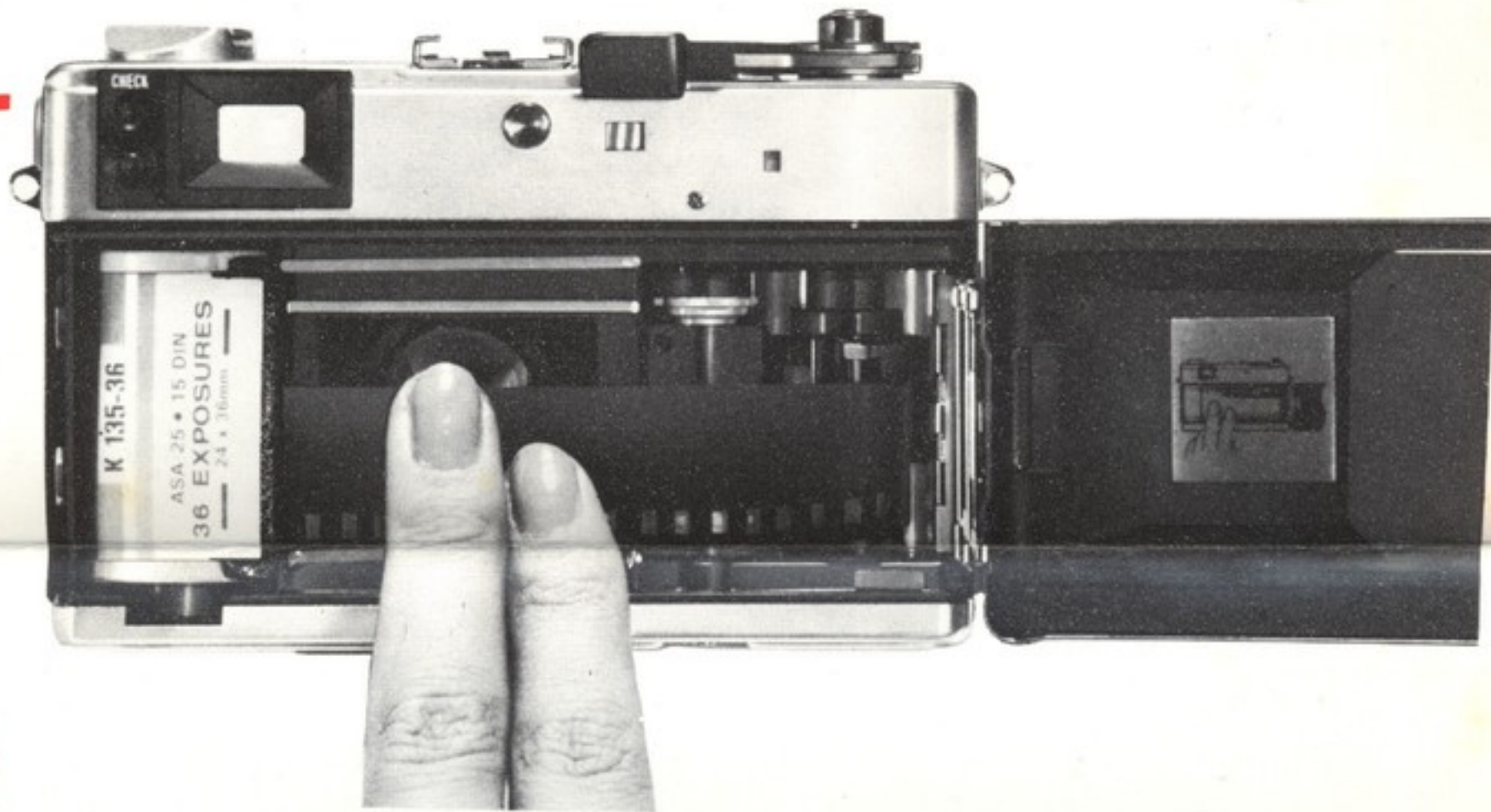
1

裏蓋を開く



2

フィルムをつめる(のせるだけの簡単なQL装填)



3

フィルム感度を合わせて

4

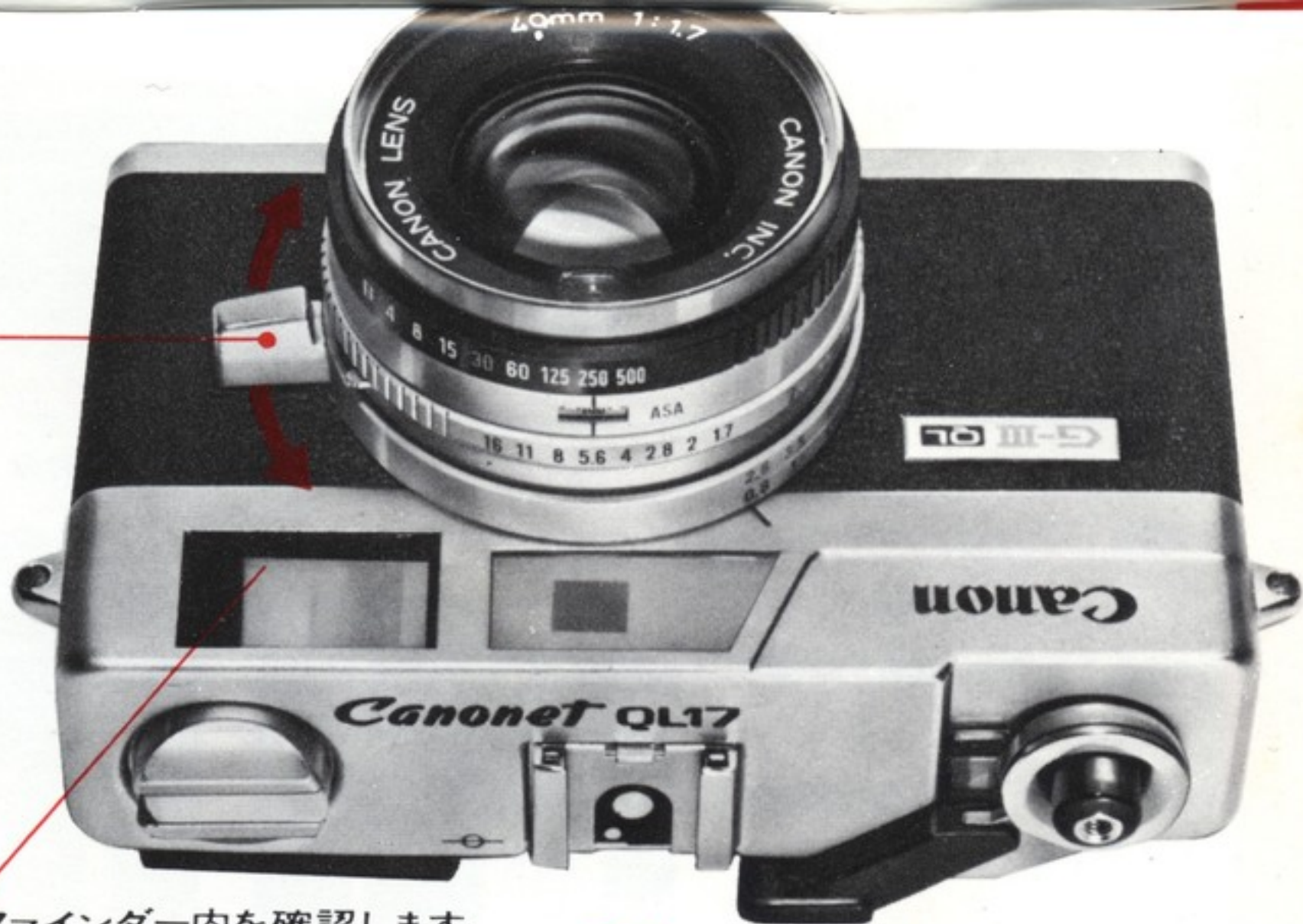
オートマークに
セットします。



5

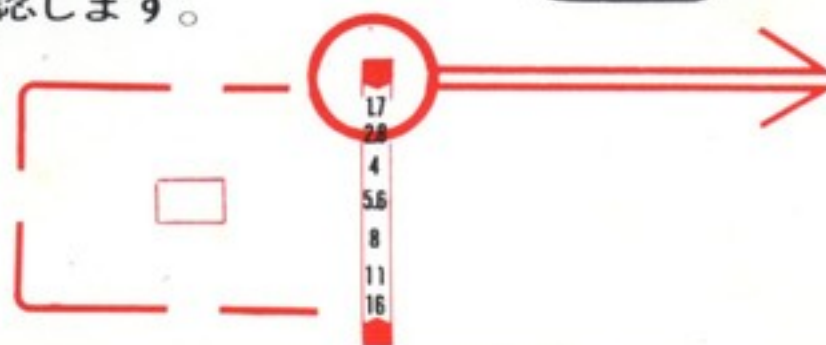
ASAレバーにお天気マークを合わせます。





6

ファインダー内を確認します。



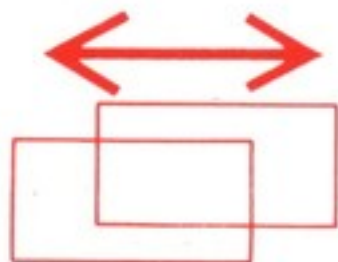
5

- ① 指針が上の赤マークにはいったときは専用EEストロボ〈キヤノライトD〉を用いてフラッシュオート撮影。
- ② 1/30秒以下のスローシャッターのときも、〈キヤノライトD〉をつければ、ぶれのないきれいな写真がとれます。



7

ピントを合わせて



8

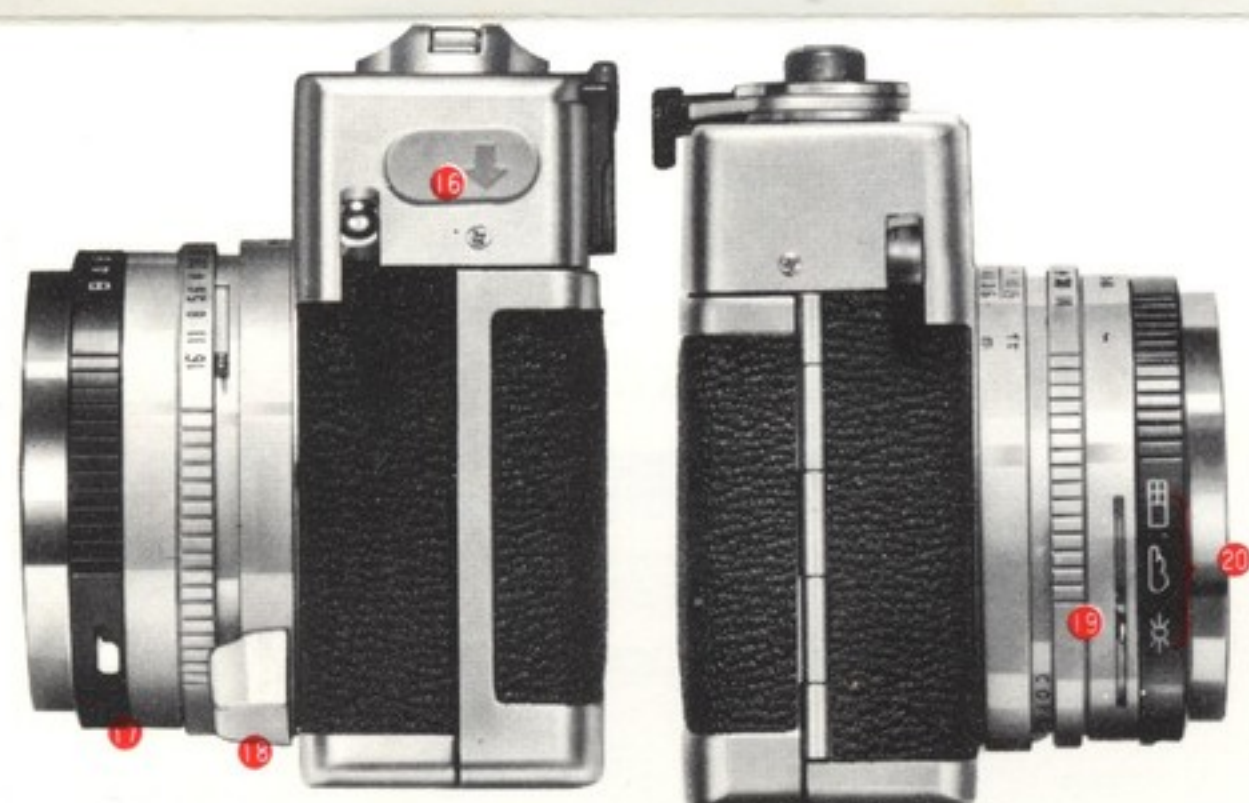
シャッターを切ります。



6

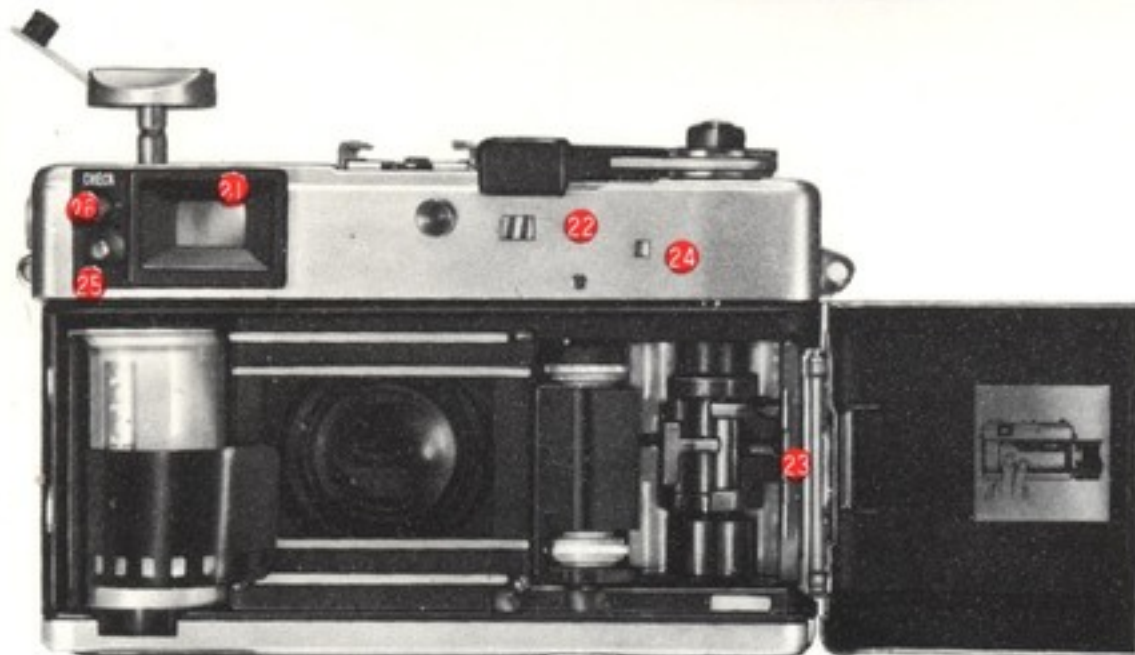


- ①シャッターリング
- ②ASA感度表示窓
- ③自動・手動切換えリング
- ④A(AUTO)マーク
- ⑤セルフタイマー・レバー
- ⑥フォーカシングリング
- ⑦フィルム枚数計
- ⑧巻戻しノブ
- ⑨フィルム位置マーク
- ⑩アクセサリ・シュー
- ⑪フィルム巻上げレバー
- ⑫シャッターボタン
- ⑬水銀電池室カバー
- ⑭三脚ねじ穴
- ⑮巻戻しボタン
- ⑯フラッシュターミナル
- ⑰バルブストッパー
- ⑱フォーカシングレバー

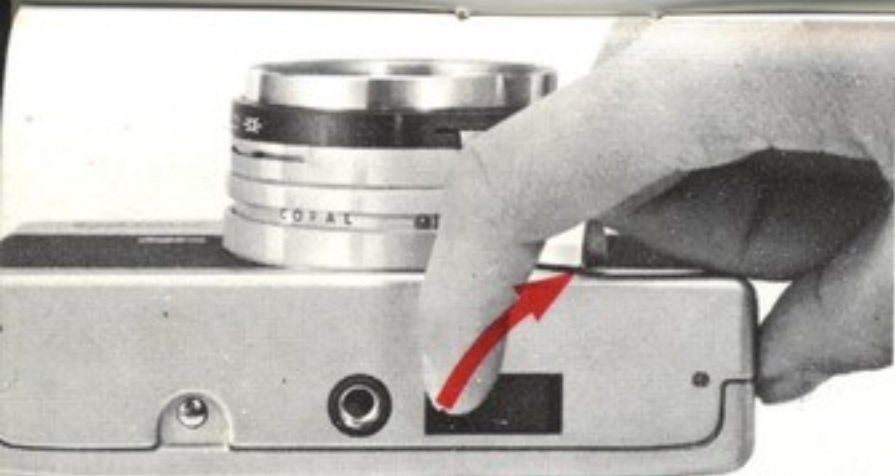


- ⑲ASA感度セットレバー
- ⑳お天気マーク
- ㉑ファインダー接眼窓
- ㉒フィルム送り確認窓
- ㉓QL(クイック・ローディング)機構
- ㉔シャッターチャージングナル
- ㉕バッテリーチェックボタン
- ㉖ブルーランプ

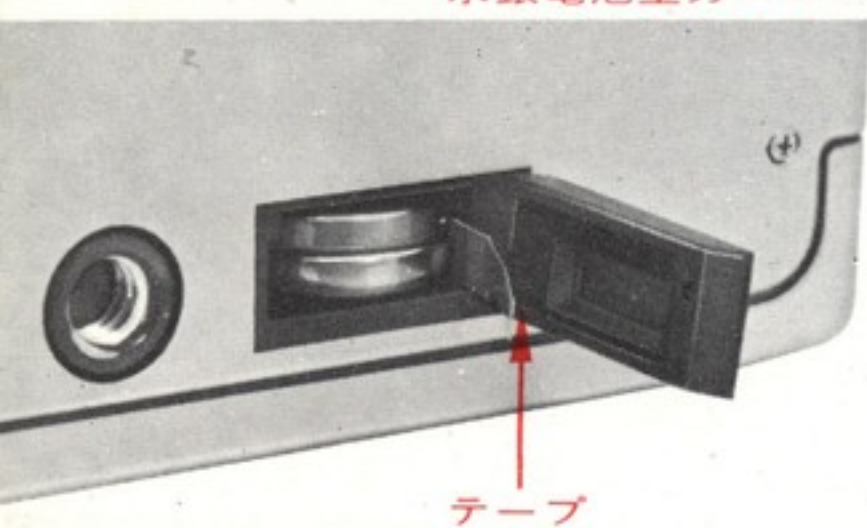
キヤノネットG-III19には
㉔㉖はありません。



最初に各部の名称を
おぼえると便利です



水銀電池室カバー



テープ

撮影の前に 水銀電池をつめてください

1 カメラ底部の水銀電池室カバーを矢印方向に押しながら引きこすと、カバーが浮上って開きます。

2 水銀電池の向きをまちがえないように入れてください。反対向きにははいりません。テープは電池の下側になるように入れてください。

3 電池室カバーを押付けて閉じます。

新しい水銀電池をお求めの際のお願い

現在、有機水銀による公害が問題になっていますが、カメラに使用している水銀は無機水銀で、直接的な害はありません。また密封されているため、外部に水銀が出ることもありません。

しかし、特殊な条件下では有機化する可能性もありますので、新しい水銀電池をお求めの際は使用済の水銀電池と引き換えのうえお求めください、絶対に捨てないようお願いいたします。



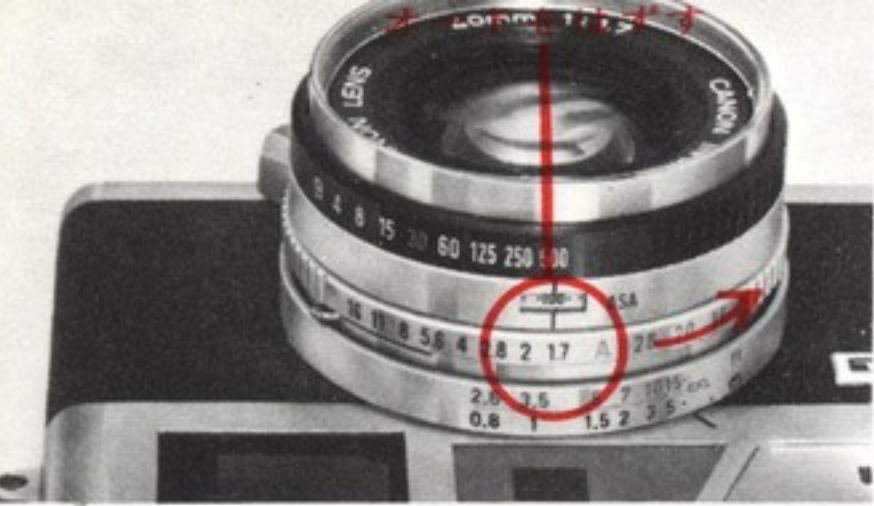
●バッテリーチェックのしかた

水銀電池は露出計の電源で、ふつう一年以上もちます。水銀電池の容量がなくなると、露出計は、はたらきません。そして、水銀電池が、十分かどうかは、バッテリーチェッカーによって調べることができます。

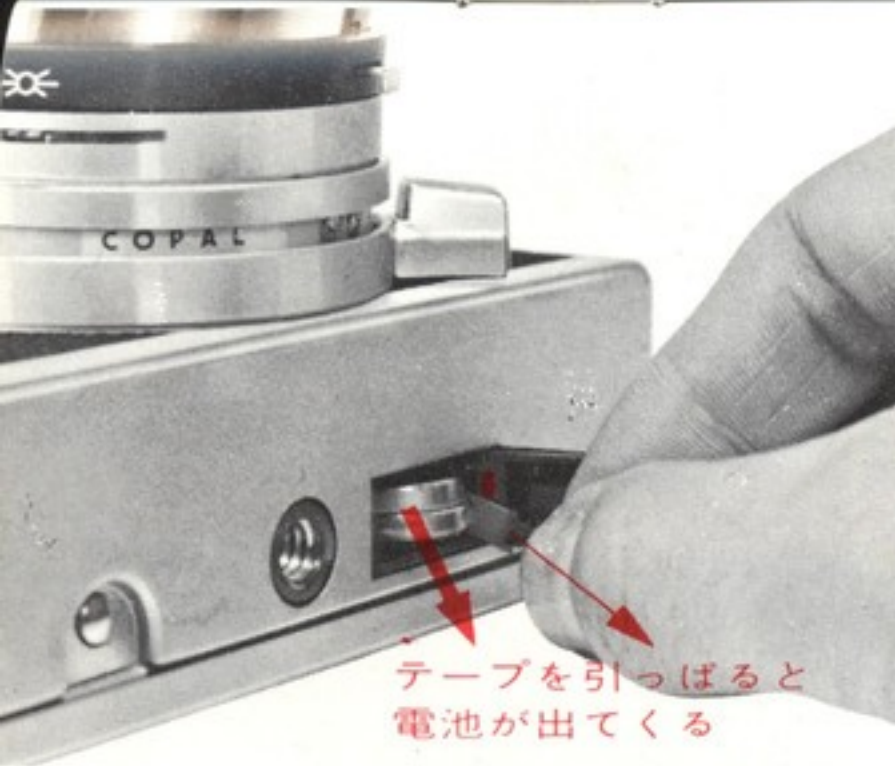
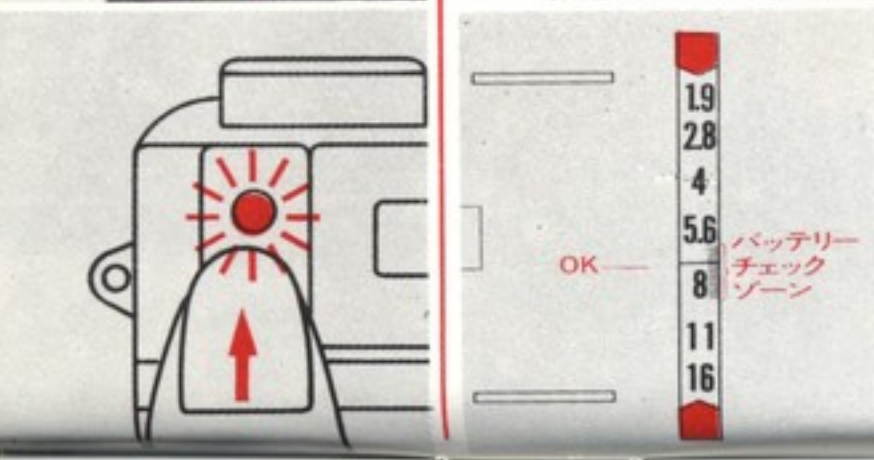
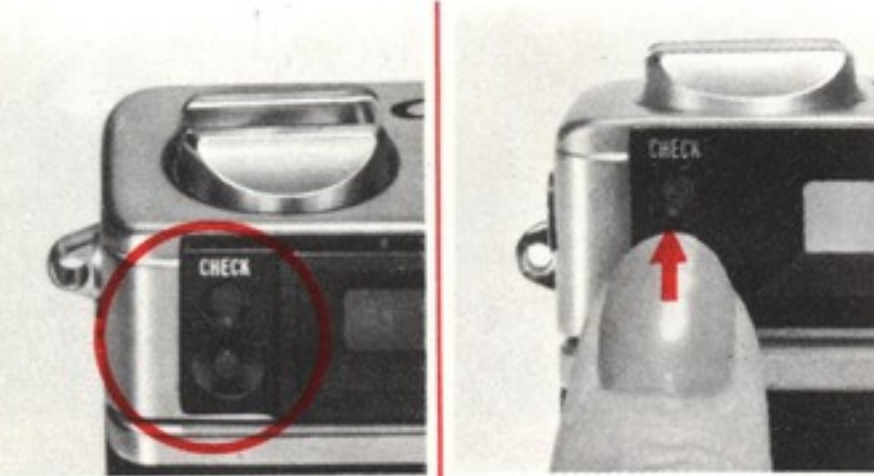
1 自動・手動切り換えリングを回して、Aをはずし、手動絞り（数値は、どこでもよい）にします。

2 キヤノネットG-III17の場合は、赤いバッテリーチェックボタンを押し、上のブルーランプが点灯すれば、電圧は十分にあります。点灯しない場合は、すぐ交換してください。

キヤノネットG-III19では、バッテリーチェッカーのボタンを押しながら、ファインダーをのぞきます。メーター指針が、ブルーのバッテリーチェックゾーンにあれば、電圧は十分です。チェッカーゾーンより、下に指針がある場合は、電圧不十分ですから水銀電池を交換してください。



キヤノネットG-III17 キヤノネットG-III19



●キヤノネットG-III17では、-20℃の寒さになるとランプは点灯しません。しかし露出計は正常に作動します。

3 電池をつめかえるときは、水銀電池室カバーを開いたらテープを引っばってください。電池が出てきます。

水銀電池について知っておきたいこと。

●売っているお店は？

カメラ店に売っています。水銀電池はJIS（日本工業規格）H-D型1.3V 1コ使用。米国製MALLORY・PX-625, EVEREADY・EPX-625に相当し、約1カ年の使用に耐えます。

●使用するとき気をつけることは？

水銀電池は汚れをきらいます。汗や指紋をつけたまま入れると、接触不良でメーターが動かないことがあります。またカメラ側の電気接点が腐蝕されていたんでしまうおそれもあります。汚れていたら、ふき取って入れてください。長期間カメラを使わないときは、抜き出しておいたほうが長持ちします。

ノブ全体を引上げる
裏蓋が開く



フィルムをつめましょう

キヤノンが生んだ簡単なQL (Quick Loading) 方式です。どなたにも失敗なく、ごく簡単につめられます。

1 巻戻しクランクを起こして引き上げ、さらにノブ全体を上へ引っぱると、裏蓋が開きます。

2 カバーをいっぱいに関き、フィルム室にフィルムのパトローネを入れます。

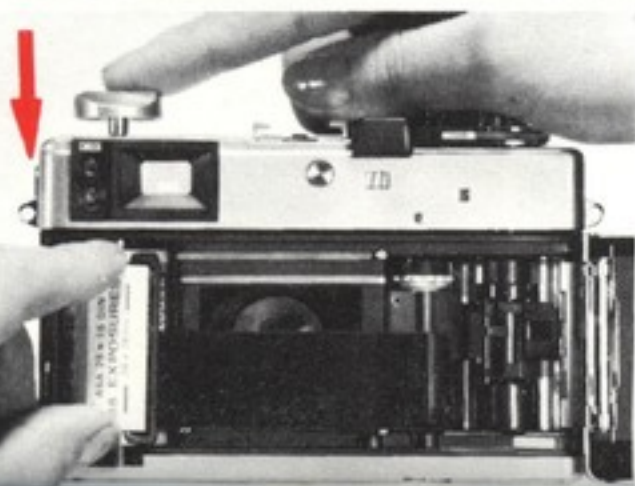
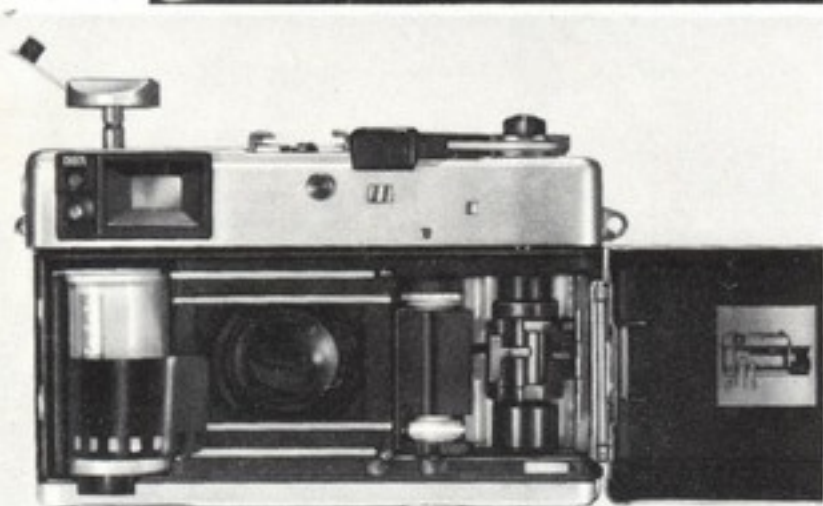
3 巻戻しノブを押し下げます。

4 フィルムの先端をオレンジマークの位置に置きます。

フィルムにたるみができたら、たるみ分をパトローネの中に巻き戻してください。

5 裏蓋を閉じます。
裏蓋を半ば閉じると、カバーがフィルムを抑えます。そのときフィルム確認窓で、フィルムがスプロケット (歯車の歯) にかみ合っているかどうかたしかめてください。

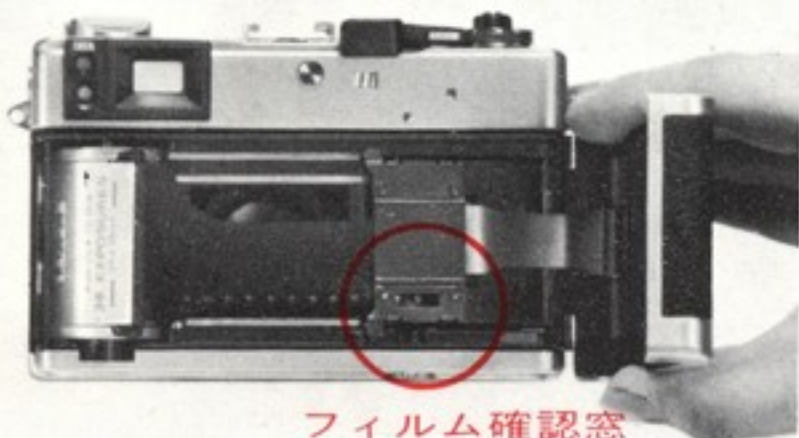
6 裏蓋を押し付けて閉じます。



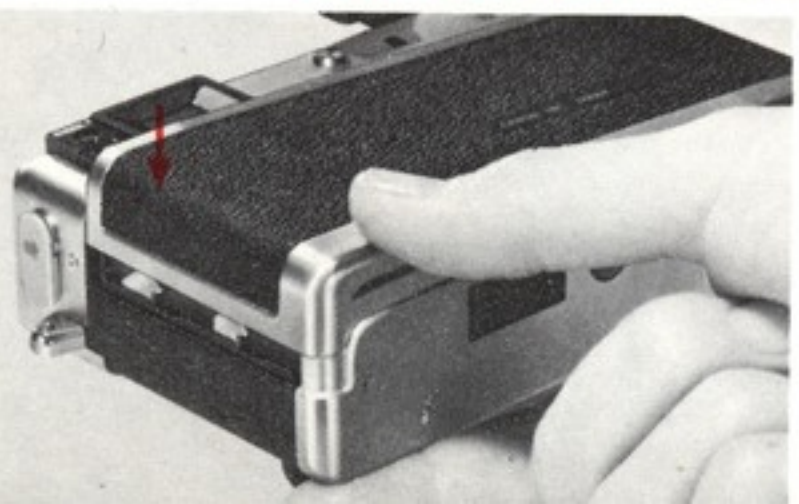
フィルム先端をオレンジマークまで

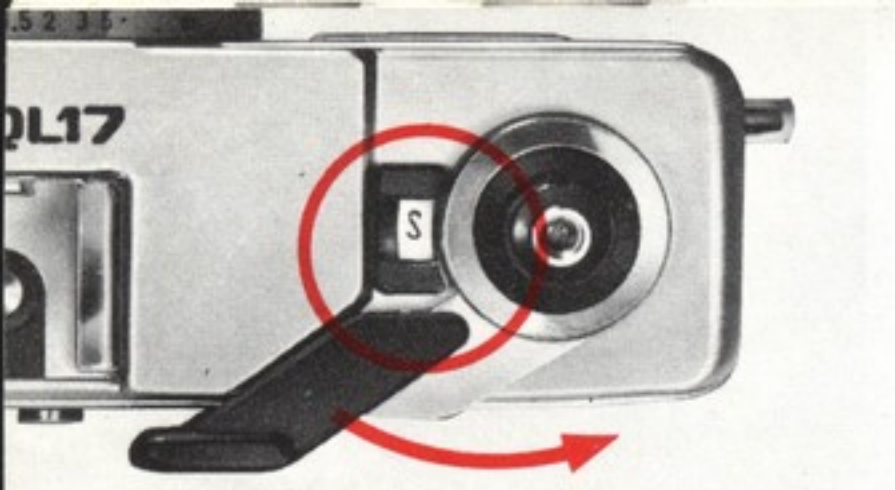


パトローネが浮かぬよう押える



フィルム確認窓

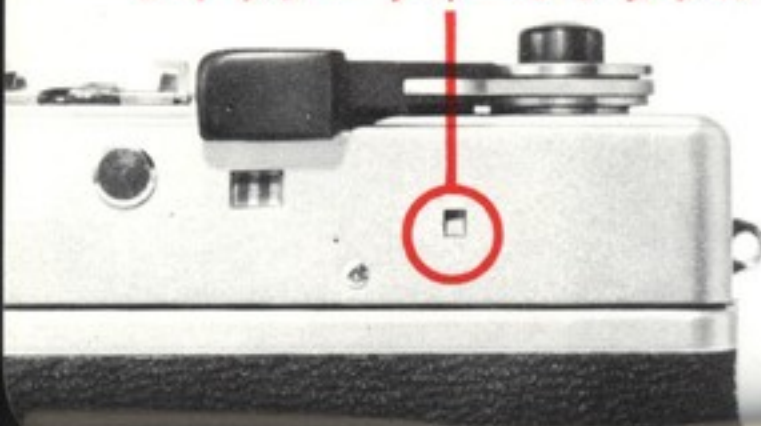




フィルム送り確認窓



シャッターチャージシグナル



ASA感度セットレバー
を押しながら動かすと



ASA感度表示窓に感度がセットされる



レバーを動かなくなるまで巻上げてフィルムを送ります。

レバーが動かなくなったら1枚目の撮影準備OKで、フィルム枚数計は1枚目を表わす(・)を示しています。ただし途中のコマでもシャッターを切ることができます。

●フィルム送りの確認

フィルムが正しく送られているときは、フィルム送り確認窓で紅白の縞が動きます。これが動かないときは、フィルムをつめ直してください。

●シャッターチャージの確認

フィルムを巻上げて、つぎの撮影準備ができると、シャッターチャージシグナルは赤になります。撮影を終えるとシグナルは白に変わります。

※キャノネットG-III 19にはありません。

ASA感度を合わせる

ASA感度セットレバーを押しながら動かすと(爪先を使うと簡単です)、レンズ鏡筒上部のASA感度表示窓の数字が移動します。ご使用のフィルム感度はフィルム外箱に明示されていますから、その数値を窓にセットしてください。ASA感度は、数値が大きくなるほど光に感じやすく、小さくなるほどにぶくなります。ASA 100よりASA 200の方が暗い場所で撮影するのに適します。




ASA感度表示窓の数字の中央にある点は、それぞれカッコ内の数値を示しています。

(32)(40)(64)(80)(125)(160)(250)(320)(500)(640)
ASA 25・・50・・100・・200・・400・・800

EE 撮影

1 はじめに、A(オート)マークにセットします。
自動・手動切換えリング上のAという赤い文字を指標に合わせます。これで被写体の明るさに適した絞りが自動的に決まる EE 撮影ができます。

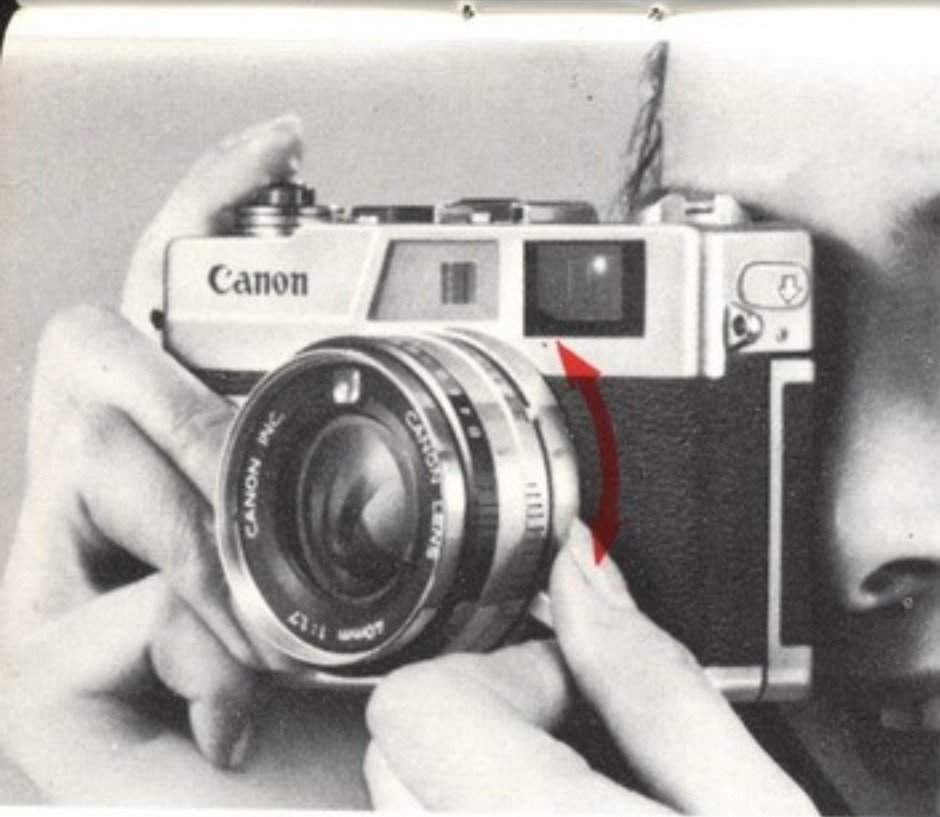
2 シャッタースピードをきめる。
シャッターリング上の数値は $\frac{1}{60}$ 秒、 $\frac{1}{30}$ 秒などの分母を示していますから、数が多いほど速いシャッタースピードです。

シャッタースピードを決めるとき、お天気マークを使うと便利です。室内  曇天  晴天  のマークから、その時の条件に適したマークを選び、シャッターリングを回して、ASA 感度セットレバーに合わせます。

ASA100のフィルムを使うとき
晴天は $\frac{1}{500}$ 秒、曇天は $\frac{1}{125}$ 秒、室内は $\frac{1}{30}$ 秒にセットされます。



ASA感度セットレバーにお天気マークを合わせる

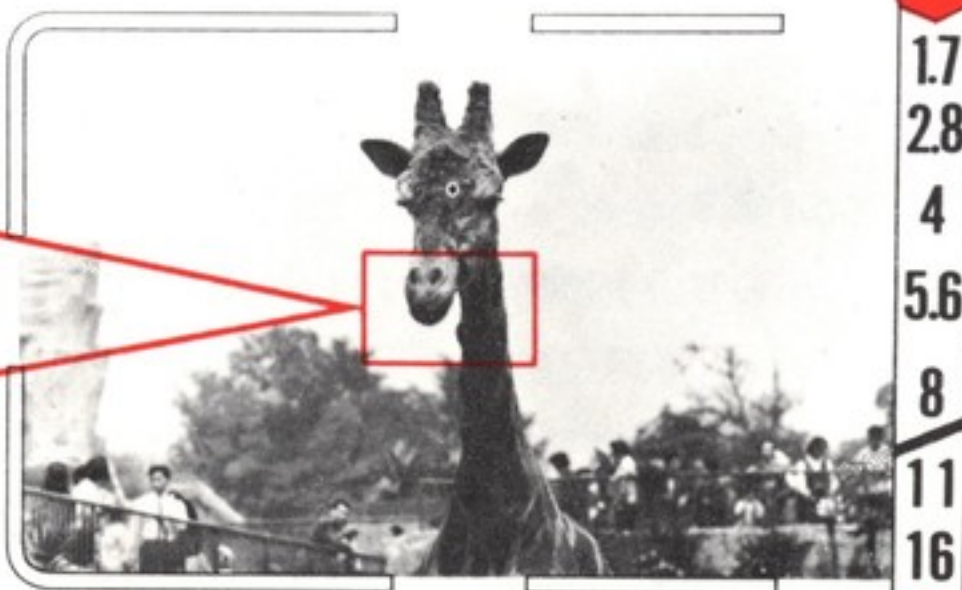


3 ピントを合わせる
ファインダーをのぞいて、フォーカシングレバーを動かし、中央の黄色い部分で、二重の像がピタリと一致するよう合わせます。

ピントが合っている



ピントがはずれている



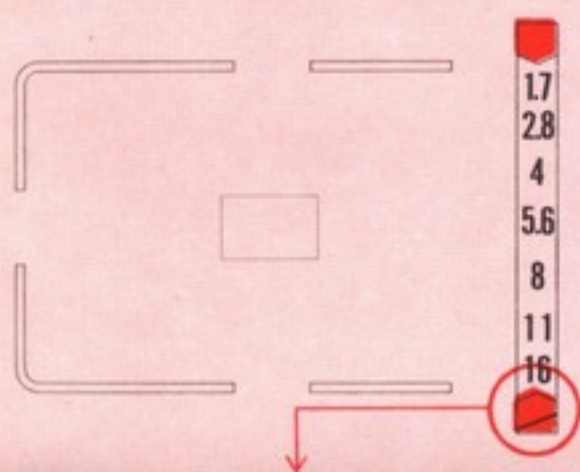
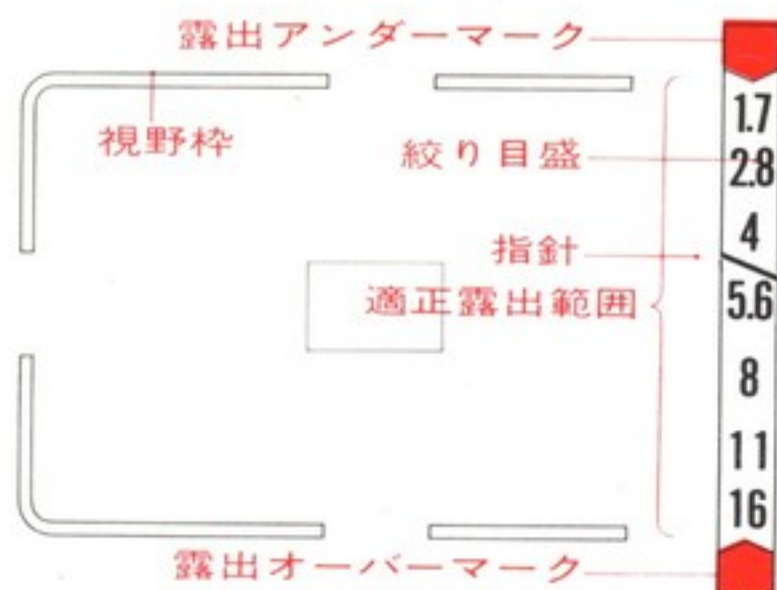
17
28
4
5.6
8
11
16

4 ファインダー情報の確認

ファインダー内には撮影に必要なあらゆる情報が集められています。ファインダーの指示どおりに撮影をすすめれば、どんなときにも適正露出のきれいな写真がとれます。

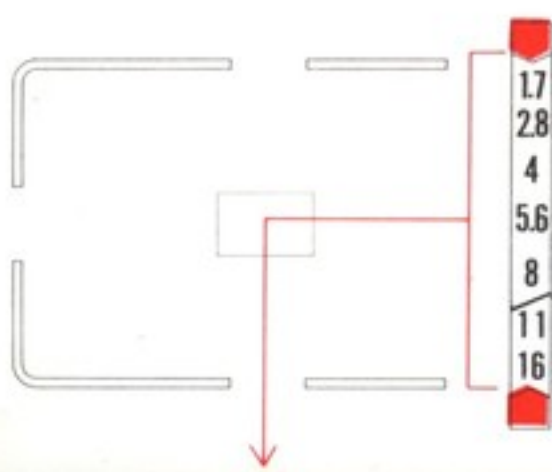
ファインダー内のマークをご説明しましょう。

- 視野枠——黄色い枠でかこまれた範囲が写ります。この枠のなかで構図をきめてください。
- キヤノネットG-III19は絞り値が1.9～16まで表示されています。



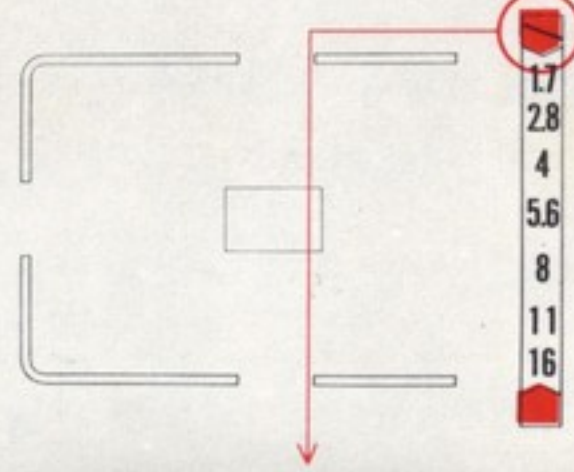
指針が露出オーバーマーク内のとき

シャッターリングを左へ回す。いっぱいにも回しても指針が動かないときはNDフィルター(光量を減らします。)を用います



指針がこの範囲にあれば、EE撮影OKです。

EE

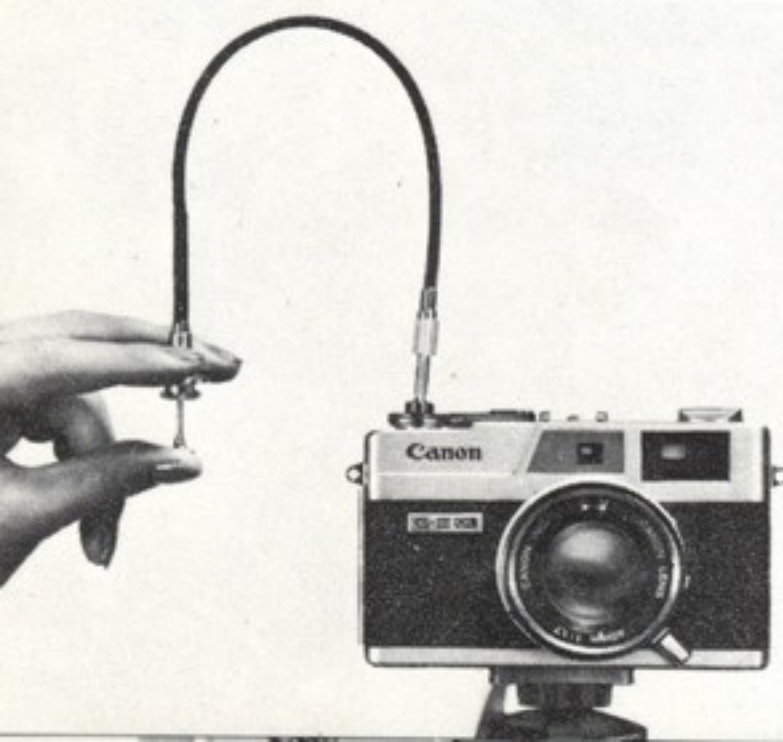


指針が露出アンダーマーク内のとき

シャッターリングを右へ回す。いっぱいにも回しても、指針が赤マークから出ないとき
フラッシュ撮影に切替える。



● EE撮影の安全装置 指針が赤マークに入ったときはシャッターを押しても切れません。



● 1/30秒以下のスローシャッターのとき
指針が適正露出範囲にある場合でも、1/30秒以下のスローシャッターの場合は、キヤノライトDのご使用をおすすめします(P.21参照)。

カメラぶれのない鮮明な写真がとれます。

● 1/30秒以下でEE撮影をするときは、ブレ防止のため三脚とレリーズの使用をおすすめします。

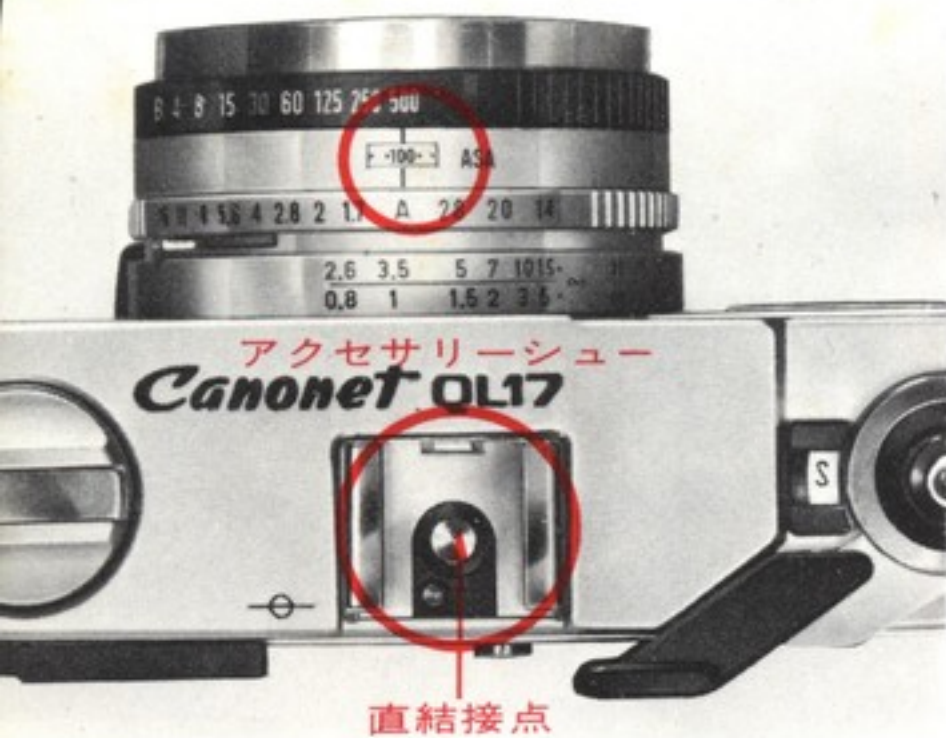


5 シャッターボタンを押すときの注意

- シャッターボタンは、ぶれないように深く静かに押してください。
- カメラを構えるとき、少なくとも片方のひじは体にぴったりつけ、カメラを額につけて固定すると、手ぶれが防げます。

撮影を快調に進めましょう

シャッターボタンを押したら、レバーを巻上げてフィルムを送ります。
一たん撮影しはじめたら、ファインダーをのぞいて、ピント、露出を確認し、シャッターボタンを押すだけです。



フラッシュオート撮影

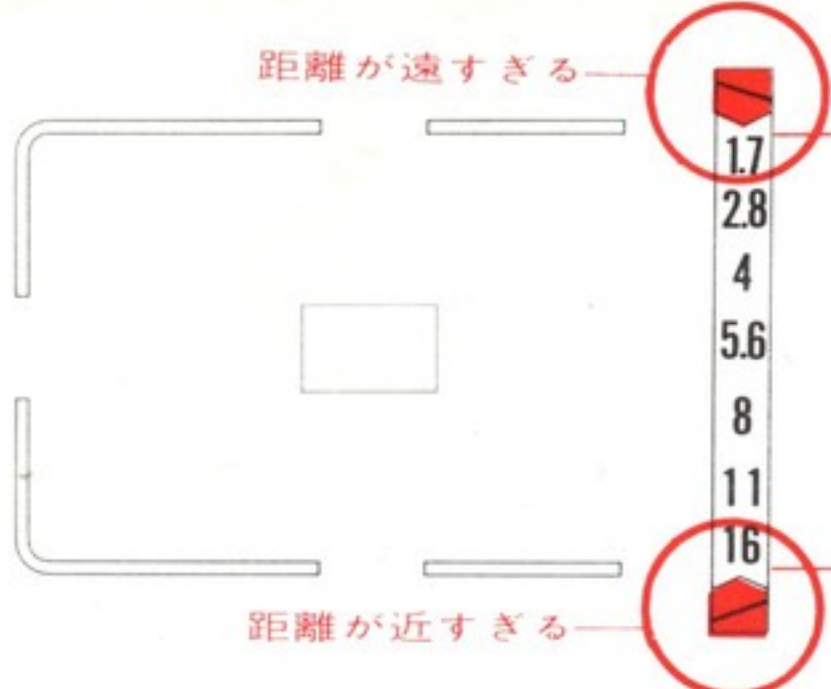
専用ストロボのキヤノライトDを用いれば、EE撮影同様の簡単さでストロボ撮影ができます。

● キヤノライトDを用いた撮影手順

- 1 絞りリングはAにセットしたままです。EE撮影と同じです。
- 2 キヤノライトDを取付け、スイッチをONにします。
- 3 ピントを合わせます。

※シャッタースピードはどこでもかまいませんが、ブレを防ぐため $\frac{1}{30}$ 秒以上にして下さい。





4

メーター指針を確認します。
 キヤノライトDの発光準備態勢が整うと、指針はEE露出範囲に出てきます。

そのままシャッターが切れる

指針が赤マークにはいったときは、距離が遠すぎるか近すぎる場合です。指針がEE撮影範囲に来るよう撮影距離をとりなおしてください。指針が上の矢印にはいったときはもっと被写体に近づき、下の矢印にはいったときは、遠ざかってください。

●キヤノライトDを取付けると、メーター回路は自動的にフラッシュ用に切り換えられ、撮影距離に連動して絞りが自動的に選ばれます。



- シャッタースピードは $\frac{1}{30}$ 秒より速い秒時にセットしてください。
- 撮影距離が連動範囲外の場合は、シャッターボタンを押してもシャッターが切れません。

●キヤノライトD以外のフラッシュ撮影

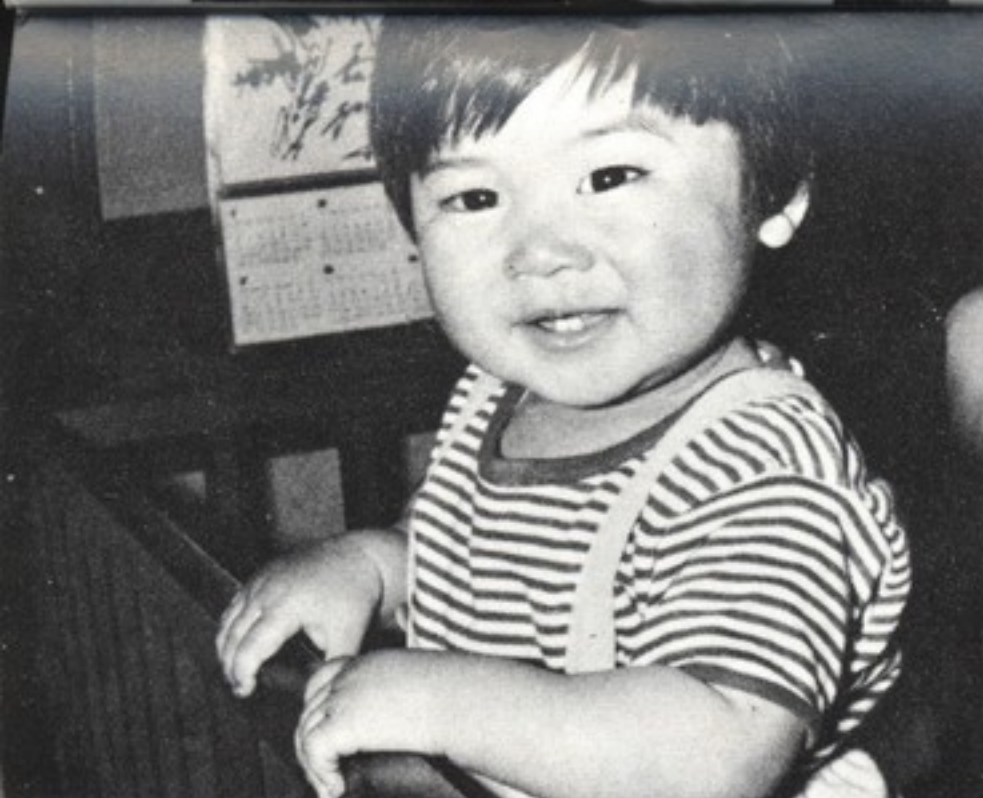
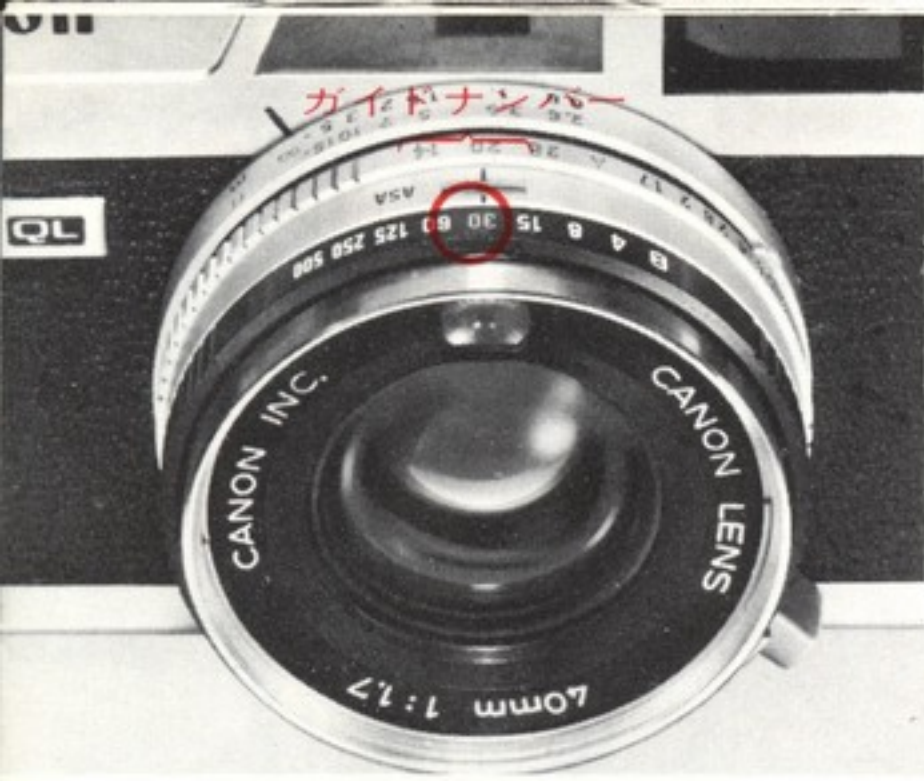
発光器をアクセサリシューにとりつけ、コードの先端をフラッシュソケットに挿入します。



1 自動・手動切換えリングを回して、Aをはずし。

2 使用前、フラッシュバルブまたはスピードライトのガイドナンバーの数字を指標に合わせます。

リング上には、28、20、14の3種が刻まれています。ガイドナンバーはフィルムの種類に関係なくASA100のときの数値を用います。

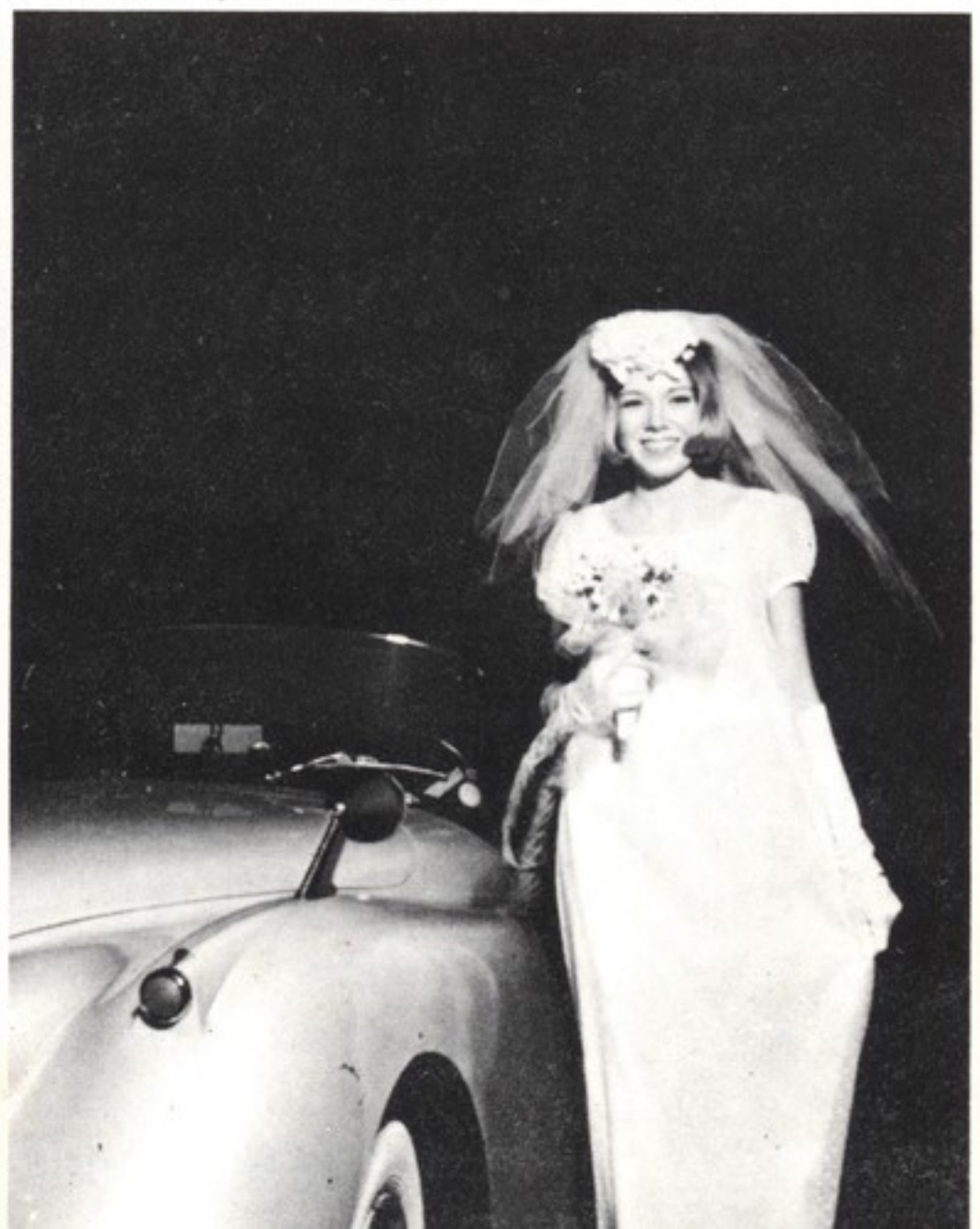


3 フラッシュを用いる場合は、シャッタースピードを30 ($\frac{1}{30}$ 秒) に合わせます。ストロボの場合は、シャッタースピードはどこでもかまいませんが、ブレを防ぐため $\frac{1}{30}$ 秒より早いシャッタースピードをおすすめします。

4 距離合わせに連動して適正絞りが決定することは、専用キャノライトDの場合と同じです。ピント合わせをして、指針が適正露出窓にはいるよう、撮影距離をとってください。

- 次の場合はフラッシュオートが連動しません。
 ガイドナンバー28の場合ASA400~800
 ガイドナンバー20の場合ASA800
 ガイドナンバー14の場合ASA 25
- 撮影距離が連動範囲外の場合は、シャッターを押しても切れません。
- キャノライトD以外の発光器を使って自動・手動切換えリングをガイドナンバーの数値にセットした場合、水銀電池の消耗が大きいので使用後は、かならずA位置に戻してください。

キャノライトD使用による作例：夜でも室内の暗い場所でも完全にキャッチ。





フィルムの巻戻し

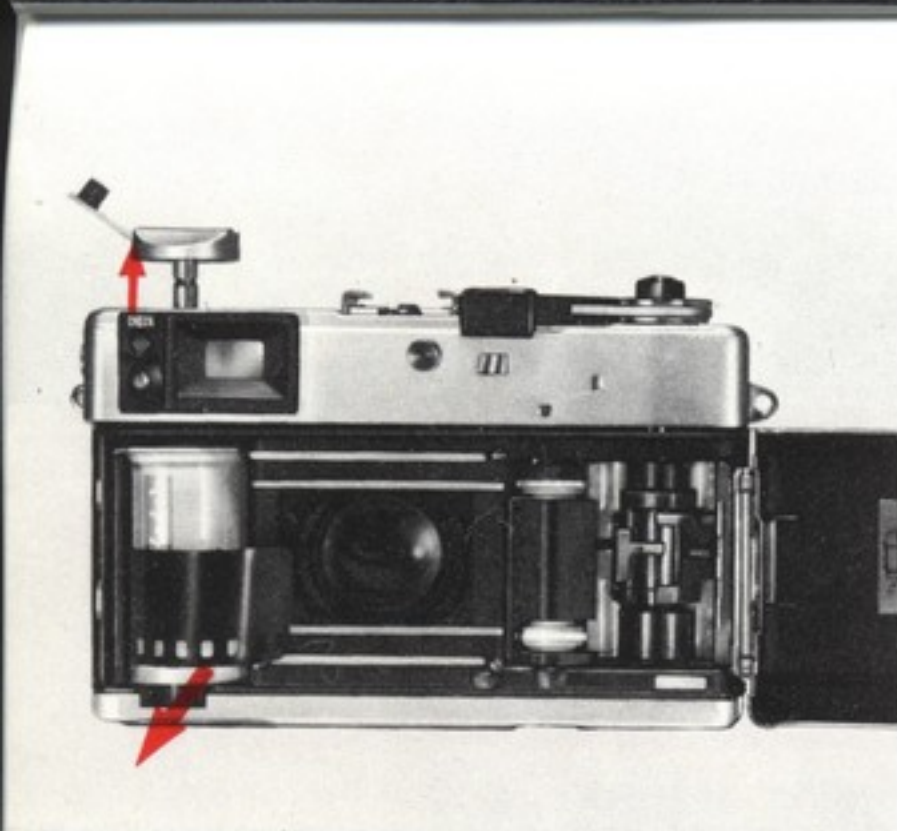
フィルム枚数計の数値を見れば、フィルムが終りになったことがわかります。フィルムがなくなると、巻上げてもレバーが動きません。

撮影したフィルムは、裸のまま送られていますから、そのまま裏蓋を開くと感光してダメになってしまいます。かならずもとのパトローネに巻戻してください。

- 1 巻戻しボタンを押し込みます。
- 2 巻戻しクランクを起こして矢印方向に回してフィルムを巻き取ります。

●フィルム送り窓を見て、赤と白のシマ模様が動かなくなったら巻戻しをやめます。

26



フィルムの取出し

- 1 巻戻しノブを上引き上げ、裏蓋を開いて
 - 2 パトローネを取出します。
- 裏蓋を開くと、フィルム枚数計がSに戻ります。

巻戻しボタンは巻上げレバーを回転させると、もとへ戻ります。



27



●手動絞り

キヤノネットでは、好みのシャッターと絞りを組み合わせて、特殊な効果をあげる撮影もできます。

1 自動・手動切換えリングを矢印方向に回して、リング上に刻まれた絞り数値(黒文字)から、好みの数値を指標にセットします。

2 シャッターリングを回して好みのシャッタースピードを指標に合わせます。

3 ピントを合わせ、シャッターボタンを押します。

●自動・手動切換えリングをAからはずすとメーター回路が切れて、ファインダー内の指針は上部の赤矢印内に固定されます。

絞りについての知識

●絞り数値の意味は？

数が小さいほど絞りは開き、数が大きくなる

ほど小さく絞られていきます。目盛の1段階ごとに、光の量は半分になります。

●絞りとピントの関係は？

絞りを絞るほど(つまり数値が大きくなればなるほど)ピントの合う範囲は広く、絞りが大きくなる(絞り数値が小さくなる)ほど、ピントの合う範囲は浅くなります。

0.8m/2.6ft.

3m/10ft.

●

●

∞





●セルフタイマー

セルフタイマーを用いると、シャッターボタンを押してから約十秒後にシャッターが作動するので、撮影者もいっしょにそろった写真がとれます。

1 セルフタイマーレバーを矢印方向に動かし、

2 シャッターボタンを押します。

■注意

セルフタイマーを、Aマーク方向にセットしたならば、指で逆に戻さないでください。故障の原因となります。



●B (バルブ) 露出

シャッターリング上のBは、長時間露出の場合使います。B(バルブ)露出は、シャッターボタンを押している間ずっとシャッターが開き、ボタンから手を離すと閉じて露出が終了します。

1 自動・手動切換えリングをAからはずして、好みの絞り数値にセットします。

2 バルブストッパーを押し込んだまま、

3 シャッターリングを回してBを指標にセットします。

4 シャッターボタンを必要とするタイムだけ押します。

■シャッターリングの $\frac{1}{4}$ 秒からBの間は、ふだんは誤用を避けるため安全ストッパーがついています。Bから他のシャッタースピードには、リングを回せばそのまま戻ります。



キヤノネットG-III17の性能

レンズ：キヤノンレンズ40mm F1.7 4群6枚構成 うち新種ガラス4枚

シャッター：1/4秒～1/500秒倍数系列およびB セルフタイマー内蔵
シャッターチャージシグナル付

露出計：超高感度CdS露出計 電源に水銀電池使用 バッテリーチェッカー付

EE機構：シャッター優先式 露出計・シャッター・絞りの完全連動 手動絞り可能

フラッシュオート機構：専用ストロボ・キヤノライトD使用により撮影距離と連動する自動絞り機構 一般の発光器でもガイドナンバーセットによりフラッシュオート撮影可能

EE連動範囲：ASA 800・F1.7・1/4秒～ASA25・F16・1/500秒
ASA 100でEV3.5～17

フィルム感度目盛：ASA 25～800

ファインダー：多層膜コーティングのマークファインダー 二重像合致式距離計連動、パララックス自動矯正式 倍率0.6X 視野内に絞り値・露出警告マークを表示

シンクロ接点：X接点

フィルム装填：速くて簡単 絶対に失敗のないキヤノンのQL方式 35ミリパトローネ入りフィルム専用

フィルム巻上げ：1作動127°回転巻上げレバー式

フィルム枚数計：自動復帰順算式

大きさ・重量：120 X 75 X 60mm・620g

32

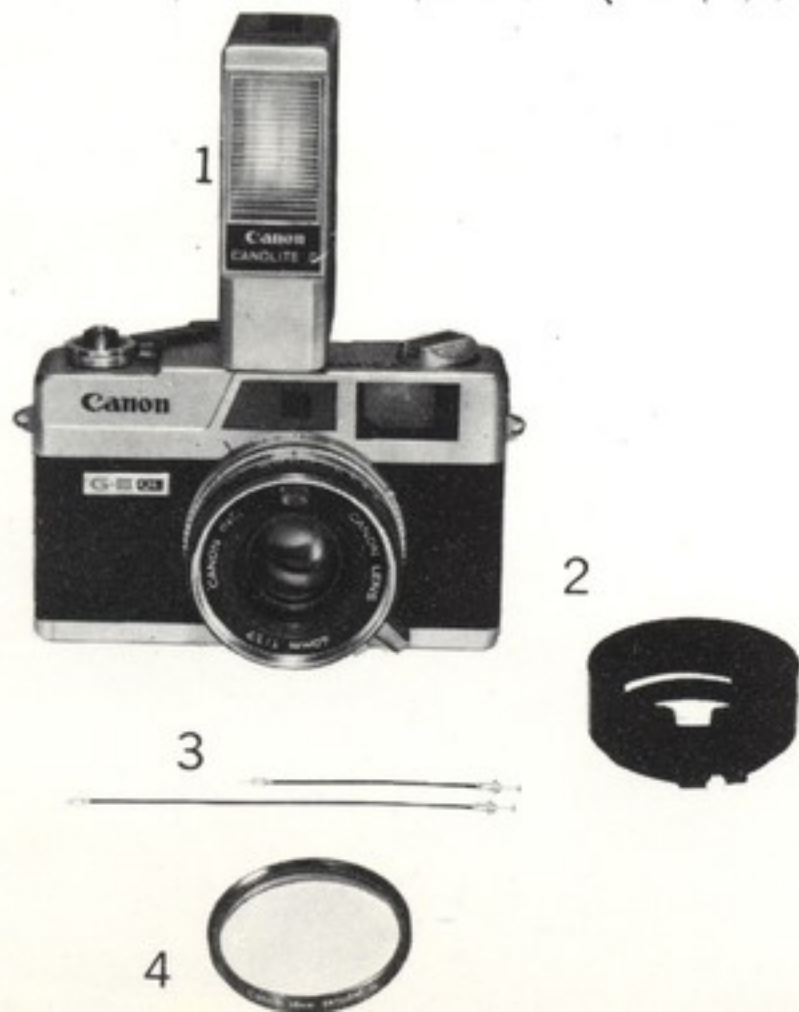
キヤノネットG-III19の性能

●次の性能以外はすべてキヤノネットG-III17と同じです。

レンズ：キヤノンレンズ45mm F1.9 4群5枚構成

EE連動範囲：ASA800・F1.9・1/4秒～ASA25・F16・1/500秒
ASA100でEV3.8～17

バッテリーチェックボタン、シャッターチャージシグナル、ブルーランプは、ありません。



キヤノネットG-III17 G-III19のアクセサリ

①キヤノライトD (ケース付)

ニューキヤノネット専用になんてに開発された直結ストロボです。フラッシュオート機構がはたらいてEE撮影とまったく同じ簡単さで夜の撮影ができます。ガイドナンバーのセット不用。

②フード (専用)

③キヤノンレリーズ30 (簡易ロック機構付)

④キヤノンレリーズ50 (簡易ロック機構付)

キヤノンフィルター48mm各種

黑白フィルム用・カラーフィルム用

33

Canon

キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田 3-11-28
カメラ販売企画部(03) 455-9353

サービスステーション

札幌	機・(060) 札幌市中央区北三条西4-1 (第一生命ビル4階)	(011) 231-1313
仙台	台・(980) 仙台市一番町1-1-30 (やまと生命仙台ビル6階)	(0222) 66-4151-7
新潟	潟・(950) 新潟市東大通1-4-1 (マルタケビル7階)	(0252) 43-2111
東京	京・(104) 東京都中央区銀座5-9-9	(03) 573-7834
横浜	浜・(231) 横浜市中区南仲通り4-39 (石橋ビル1階)	(045) 211-1691
千葉	葉・(280) 千葉市千葉港4-3 (千葉港私学会館4階)	(0472) 43-9648
大宮	宮・(330) 大宮市桜木町4-218 (共栄ビル2階)	(0486) 41-9122
八王子	子・(192) 八王子市八幡町11-2 (八王子繊維貿易館)	(0426) 25-7511
静岡	岡・(420) 静岡市藤原2-7-2 (静米会館1階)	(0542) 55-2241
名古屋	屋・(450) 名古屋市中村区堀内町4-1 (毎日会館)	(052) 581-3811
大阪	阪・(530) 大阪市北区梅田2 (第一生命ビル)	(06) 341-9335
京都	都・(604) 京都市中京区御池通間之町東入ル (東邦生命ビル5階)	(075) 241-0216
大津	尺・(920) 大津市尾張町1-11-14 (住友生命ビル3階)	(0762) 32-1711
高松	松・(760) 高松市番町2-17-15 (第二讃岐ビル1階)	(0878) 51-7121
岡山	山・(700) 岡山市中山下1-9-40 (新岡山ビル5階)	(0862) 22-8228
広島	島・(730) 広島市小町2-30 (第二有楽ビル4階)	(0822) 44-4615
福岡	岡・(812) 福岡市博多区博多駅前4-20-23 (セントラルビル1階)	(092) 411-4172